

一切の戦争に反対する！

ロシア・グルジア紛争を直ちにやめろ！

「グルジアからの分離独立を求める南オセチア自治州に進攻したグルジア軍と、同州に平和維持を名目とした駐留部隊を置くロシア軍の戦闘がグルジア領内各地に拡大した」と報道されている。インターファクス通信によると、この戦争によって、「州都だけで民間人約2000人が死亡」と伝えられている。そしてさらに、ロイター通信によると、「グルジアからの分離独立を主張するアブハジア自治共和国でも、独立派民兵らがグルジア軍に攻撃を始めた」とのことである。

この戦争は、南オセチア自治州の独立という民族問題が紛争の原因とされているが、その内実は、グルジアとロシア、そして欧米を含むカスピ海の原油や天然ガス、そのパイプラインルートに関する利権が絡み合っているといわれている。

いかなる戦争もそうであるが、権力者の利権のために労働者・市民が殺されている。このようなことを絶対に許さない！

私たちは、一切の戦争、戦争政策に反対し、恒久平和を求めて闘います！

時事通信より

南オセチア自治区の悲惨な様子 →

読売新聞より



労働者・市民を
利権争いの犠牲にするな！